

授業科目	障害者心理学				単位	2			
履修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE31413J			
開講年次	3年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1				
担当教員	野井 未加								
授業概要	障害のある人の心理特性を理解し、彼らが抱える問題や困難に対する心理的援助について解説する。また、障害者自身さらには家族の障害の受容の在り方とその対応について解説する。								
学生が達成すべき行動目標	1. 障害の定義(ICFの定義, 医学・福祉・教育的立場からの定義)を整理して説明できる。 2. 視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、重度・重複障害者、病弱障害者、発達障害者の心理特性の理解と心理的援助の在り方について説明できる。 3. 障害受容の諸説を理解し、障害者及び家族の心理状態に応じた援助について説明できる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)	51						51		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)	19						19		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)			30				30		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
学際的及び医学・福祉・教育的立場からの障害の定義について、整理して説明し、他の人に正確に伝えることができる。様々な障害のある人の心理特性を理解した上で、援助に役立てることができる。障害受容の諸説を理解し、自らの援助に役立てることができる。					学際的及び医学・福祉・教育的立場からの障害の定義について説明することができる。様々な障害のある人の心理特性について説明することができる。障害受容の諸説について理解し、説明することができる。				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:障害とは1 「障害」に関する学生の知識を小レポートによって把握する。WHOによる障害の定義、障害の種類、障害の出現率について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
2	テーマ:障害とは2 障害の重積・深化の心理的プロセス、発達援助のための10の原理について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
3	テーマ:視覚障害児・者の理解と心理的援助 視覚障害の定義、心理特性、発達援助、心理的援助、家族への援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
4	テーマ:聴覚障害児・者の理解と心理的援助 聴覚障害の定義、心理特性、発達援助、心理的援助、家族への援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
5	テーマ:知的障害児・者の理解 知的障害の歴史、定義と分類、原因、疫学、合併症について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
6	テーマ:知的障害児・者への心理的援助 知的障害児・者への援助の全体像、臨床心理学的援助(心理アセスメントと心理療法、発達援助法)について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
7	テーマ:肢体不自由児・者の理解 肢体不自由の定義、脳性まひの定義及び分類、随伴症状、発達特徴について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
8	テーマ:肢体不自由児・者への心理的援助 早期発見・早期療育—医学的方法(ボバース法とヴォイタ法)と心理学的方法(動作法)を挙げ、両者の基本的考え方、方法について解説する。また家族援助の実際について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
9	テーマ:重度・重複障害児・者の理解と心理的援助 重度・重複障害、重症心身障害の定義、分類、心理特性、及び彼らに対する教育、心理的援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
10	テーマ:病弱児・者の理解と心理的援助 病弱の定義、病気の概要と病弱児・者に対する心理的援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
11	テーマ:発達障害児・者の理解と心理的援助①注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害 発達障害の定義、注意欠如・多動症の定義、心理特性、心理アセスメント、心理的援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
12	テーマ:発達障害児・者の理解と心理的援助② 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 自閉スペクトラム症の定義、心理特性、アセスメント、心理的援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30

13	テーマ:発達障害児者の理解と心理的援助③ 限局性学習症/限局性学習障害 限局性学習症の定義、心理特性、心理アセスメント、心理的援助について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
14	テーマ:障害の受容について 障害受容の諸説、親・家族への支援について解説する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
15	テーマ:まとめ 重点項目について、総括する。	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	心理学概論Ⅰ、Ⅱおよび発達心理学Ⅰを受講していることが望ましい。			
テキスト	指定なし。毎回レジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「障害児・障害者心理学特論」 佐藤新治・田中新正・古賀精治著 (財)放送大学教育振興会 「障害特性の理解と発達援助 第2版 教育・心理・福祉のためのエッセンス」 昇地勝人・蘭香代子・長野恵子・吉川昌子編 ナカニシヤ出版 「発達障害と家族支援 家族にとっての障害とはなにか」 中田洋二郎著 学研 他、講義中に適宜提示する。			

<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>各自、障害児・者に関する文献を読み、積極的に障害領域のボランティアに参加することが望ましい。</p>
<p>達成度評価に関するコメント</p>	<p>試験及び小レポートの内容については、講義の中で指示をする。</p>